

# 都会でのペットとの共生

研究開発部  
宮垣 元

## < ペットブーム健在 >

ペットブームという言葉もやや色あせた感があるが、決してブームが去ったわけではない。ペットに関する正確な実態は把握されていないが、公的統計である「畜犬登録頭数等調査」によると、1980年に317万8,970頭だったものが、1998年には544万7,240頭にまで増加している(図表1)。もちろん、この数字は犬についてのもので、かつ実際に登録されている数だけであるが、2000年6月に行われた総理府の調査によれば、全体の36.7%と、4割弱の人が何らかのペットを飼育しているとされている。こうした数字は、ブームという言葉が不似合いなほど私たちの生活に定着したことを示しているだろう。

こうしたことを反映して、生体、ペットフード、ペット関連サービスの主に3つからなるペット関連市場の規模も、数年後には1兆円を超えることが見込まれている。「ペットフード」「愛がん動物・同用品」に関する世帯あたりの支出額について見ても、1980年には1世帯あたり6,006円(園芸品・同用品も含む)であったものが、1990年には7,884円(園芸品・同用品は含まず、以下同)となり、1999年には1万4,579円にまで一貫して増加していることがわかる(図表2)。

## < 都会でのジレンマ >

ペットを飼う理由や意義は人により様々だろう

が、前述の総理府の調査によれば、その良い点として、「生活に潤いや安らぎが生まれる」を挙げた人の割合が51.2%と最も高く、以下、「家庭がなごやかになる」(42.5%)、「子どもたちが心豊かに育つ」(40.6%)と続き、いずれも生活の豊かさにつながるものとしてとらえられているうえ、おおむね大都市ほどその傾向が強くなっている。一方、ペットを飼わない理由としては、「十分に世話ができないから」、「死ぬとかわいそうだから」という理由に続き、「集合住宅であり、禁止されているから」があがっており、この傾向も大都市ほど高く、以前の調査(1983年)よりも伸びている点が特徴的である(図表3)。つまり、都会ほど、飼いたいのに飼えないというジレンマを抱えているということになる。

## < 期待したいまちづくりへの視点 >

昨今の、ペットロボットやキャラクター成長型のゲームや玩具への着目は、こうした背景があるのかも知れない。とはいえ、少子高齢化や核家族化の進展は、ペットへの期待をますます高めており、これまで以上に動物との共生のあり方が問われることは間違いなさだろう(図表4)。政府は、26年ぶりに法律を「動物の愛護及び管理に関する法律」へと改正し、これまでの保護から愛護への視点転換を行うと共に、飼い主、動物取扱業者、行政それぞれの責任や役割を明確にした。しかし、今後より重要となるのは、ペットとの共生を考慮した住宅はもちろん、公共施設や公的空間などのあり方についての視点である。上記のような社会状況と必要性をかんがみれば、さらに踏み込んだ具体的な施策や取り組みが望まれよう。西欧の街並みがそうであるように、動物が都市生活にとけ込むようなまちづくりを期待したい。

| Year | Number of Registered Dogs (in thousands) |
|------|------------------------------------------|
| 1980 | 3,179                                    |
| 1982 | 3,373                                    |
| 1984 | 3,502                                    |
| 1986 | 3,537                                    |
| 1988 | 3,622                                    |
| 1990 | 3,890                                    |
| 1992 | 4,056                                    |
| 1994 | 4,143                                    |
| 1996 | 4,799                                    |
| 1998 | 5,447                                    |

資料: 厚生省「畜犬登録頭数等調査」(「衛生行政業務報告」各年版)

図表2 家庭におけるバツ関連支出の推移

| 年    | 合計     | 法律費用・調停費用 | 相談・調停費用 |
|------|--------|-----------|---------|
| 1980 | 6,006  |           |         |
| 1984 | 7,884  |           |         |
| 1991 | 9,056  |           |         |
| 1992 | 8,988  |           |         |
| 1993 | 10,097 |           |         |
| 1994 | 10,534 |           |         |
| 1995 | 10,873 | 6,197     | 4,676   |
| 1996 | 12,851 | 7,501     | 5,350   |
| 1997 | 13,183 | 7,580     | 5,603   |
| 1998 | 13,451 | 7,746     | 5,705   |
| 1999 | 14,579 | 8,389     | 6,190   |

—◆— ペットフード、他の愛がん動物・同用品  
 - - - □ - - - ペットフード  
 - - - ▲ - - - その他の愛がん動物・同用品

|                  | 十分に世話が<br>できないから | 死ぬと<br>かわいそう<br>だから | *集合住宅で<br>あり、禁止さ<br>れているから | 動物が<br>嫌いだから | 家や庭が<br>汚れるから | 家や庭が<br>狭いから | 移る病気が<br>あるから | べつから<br>反対するから | 家族が | お金が<br>かかるから | その他  | わからない |
|------------------|------------------|---------------------|----------------------------|--------------|---------------|--------------|---------------|----------------|-----|--------------|------|-------|
| 1983年調査 (n=4190) | 41.0             |                     | 18.7                       | 19.3         | 11.0          | 12.4         |               | 5.0            |     | 2.3          | 12.4 | 1.4   |
| 2000年調査 (n=1387) | 43.5             | 37.6                | 23.1                       | 13.9         | 13.3          | 8.7          | 7.4           | 5.7            |     | 4.8          | 9.3  | 0.6   |
| 【都市規模別】          |                  |                     |                            |              |               |              |               |                |     |              |      |       |
| 大都市 (n=328)      | 43.3             | 34.1                | 37.5                       | 8.8          | 10.7          | 8.8          | 6.4           | 4.3            |     | 4.6          | 7.9  | 0.3   |
| 東京都区部 (n=97)     | 35.1             | 28.9                | 41.2                       | 6.2          | 14.4          | 9.3          | 4.1           | 3.1            |     | 4.1          | 4.1  | -     |
| 政令指定都市 (n=231)   | 46.8             | 36.4                | 35.9                       | 10.0         | 9.1           | 8.7          | 7.4           | 4.8            |     | 4.8          | 9.5  | 0.4   |
| 中都市 (n=533)      | 44.7             | 35.6                | 25.5                       | 13.9         | 14.1          | 9.8          | 8.1           | 5.4            |     | 4.9          | 9.2  | 0.6   |
| 小都市 (n=261)      | 41.8             | 41.0                | 15.7                       | 18.0         | 15.3          | 8.8          | 6.5           | 5.0            |     | 4.6          | 11.1 | 0.4   |
| 町村 (n=265)       | 43.4             | 42.6                | 7.5                        | 16.2         | 13.2          | 6.4          | 8.3           | 8.7            |     | 5.3          | 9.4  | 1.5   |

| 理由                                            | 割合 (%)        |
|-----------------------------------------------|---------------|
| 家族の一員同様に共に生活する世帯が増える                          | 43.3 (n=2190) |
| 老後のパートナーとしてのペットの重要性が増す                        | 39.8          |
| 高齢者の病気などにより飼育できなくなるペットが増える                    | 31.8          |
| 福祉施設や老人施設などでペットが飼われるケースが増える                   | 26.8          |
| 子供の情操教育などの目的でペット飼育の重要性が増す                     | 23.6          |
| しつけられたペットが増え、ペットを連れて自由に公共施設や交通機関などを利用できるようになる | 15.7          |
| その他                                           | 0.3           |
| わからない                                         | 10.8          |

37